



自然由来のヘチマ水を主で90%使用した「生薬化粧水」。美肌のためのにんじんやエキネシア、クマザサのエキスが配合され保湿度も天然ミネラルたっぷり！



そこで私が見ている子どもたちに9種類のワクチンを希釈搬送したレメデイーを指示したところ目覚ましい成果があり、ワクチン病ではないかという疑いは確信に変わりませんでした。

現在まで、168名の発達障害や自閉、多動の症状を持つ子どもたちの91%に改善がみられたという結果を得ています。この研究結果は海外のホメオパシーの学会や学術誌で発表し大きな反響があります。私が医原病治療を模索する中で確立したZenメンツドを使いたいという問い合わせも増えています。

ワクチンだけでなく、日本人の安易に薬をとり症状を止めようとするのも大きな問題ですが、ワクチンや薬をとらせようとする体制に問題があることを実感しています。

また、添加物の多い食べ物や経皮毒の問題が多い化粧品を使う女性たちの体がむしばまれている現状も大きな問題であると感じています。

### 3. 11を体験した大きな気づき

東日本大震災直後から、日本ホメオパシー医学協会は、災害支援隊を4回派遣し、現地の方をできる限り励ますと、支援物資の提供やふれあいの会



農でできた大根、小松菜、イモ、キャベツなどを、車に積めるだけ積んで二十箱ほど持って行ったのですが、福島の方々はホメオパシーのレメデイーやマザーチンクチャールよりも先にこれらの野菜を取ったのです。何はなくとも水と食べ物、とりわけ新鮮で安全な野菜が何より一番だったのです。このときもつとつと農業に力をいれようとしたのです。

そして、私たちが作る野菜を国民の皆さまが購入するのではなく、一人ひとりが庭や畑を耕し、自給自足すること、これがもっとも大切なのだということに気づきました。

この災害が起きたのは事実です。

私は日本が何か学ばなければならぬことがあるからこそ、この災害を受け取ったと思うのです。だから日本人は今、何を気づき、何を行動すればいいのかを生き残った私たち一人一人が真剣に考えなければならぬと思います。

私に苦しみを相談してきた方々の多くが、自分の行動は正しかったのか、自分が家族を置きざりにしたのではないかと、自分のせいで亡くなったのではないかと自分を責め、罪悪感と自己否定感に苦しんでいます。また、私が福島を訪れた時、私の営む無農薬・無化学肥料の日本豊受自然